

2011 年度 活動計画 (案)

ナルクが 1994 年に創立して今年は 17 年になります。「天の川クラブ」も同時期の設立です。人が 17～18 歳といえば人生の行路を決める大事な時に当たります。全国組織のボランティア団体として育ってきたナルクもそのような時を迎え、将来を見据えた展望を描く必要がある中、本部会報「ナルク」3 月 10 日号で 2011 年度の事業計画案が発表され、基本的な考え方 5 項目、具体的な取り組み 18 項目に亘って掲げられました。

基本的な考え方・・・要点は

- ・ナルクで新しい絆を、そして楽しく健康で (声かけ合ってボランティアの縁を)
- ・ナルクで感動・生きがいを (自分の生きがいのためにボランティアを)
- ・ナルクで安心・希望を (一人暮らしになっても安心のためにボランティアを)
- ・ナルクで情熱あふれるリーダーがつぎつぎと (定年後は余生でない)
- ・ナルクに次世代会員が続々と (会の継続は、新会員が無ければ衰退する)

1. 全般的な活動計画

2011 年度「天の川クラブ」の活動計画は、本部活動計画 18 項目を基に運営委員会で協議した結果、次の 4 項目を重点課題として取り組みます。

会員からの利用依頼が増え、提供活動が増え、クラブ活動が増え、会員の交流が増えて「天の川クラブ」の会員で良かったと言えるようにしましょう。

(1) 新会員の増加を図り 2015 年 3 月末までに会員数 1,000 名を目標に行動する。

会員の高齢化が進んでいます。平均年齢 70 歳(男子 71 歳、女子 69 歳)この 2 年間で入会者は 150 名、退会者が 110 名で純増数 40 名と停滞しています。会員純増を図るためには具体的な行動が必要です。

- ①会員が、知人、友人、仲間などに声かけし、口コミで入会を促進する
- ②広報活動を積極的に取り組んでいく。
- ③活動機会を得られていない会員に声かけし、退会していく会員を減らす。

(2) 「地区会」の活動を活発にして顔の見える組織作りを確立する。

地区会の開催は各地区とも定着していますが、地区会発足当時と地区事情に変化が起きています。2004 年発足当時、各地区 50～70 名で地区割をしましたが、現在 140 名に増加した地区と 60 名と変わらない地区があります。今年度は、地区会の運営について地区会運営細則を見直し、地区担当運営委員を選任して活動内容、組織、役割などを明確にします。800 名を超える会員への情報伝達や、緊急連絡をスムーズにするためには、地区会の役割が重要です。

- ①地区会員の連絡網を作成します。
- ②地区内の依頼案件は、できる限り地区内で提供できるよう目指します。
- ③地区内で新しく活動できる奉仕活動(福祉施設、環境、子育て支援など)を地区世話人と協議していきます。

(3) “ふれあいルーム「天の川」”を活用し会員、地域の高齢者との交流を促進する。

“ふれあいルーム「天の川」”の活用は、会員の交流目的と、各種会議、文化クラブ、地域高齢者とのふれあいの場など、色々な面で活かせるように利用細則が

決まりました。特に土・日・祝も含め9時～20時までの利用も可能ですので、多
いに活用して下さい。

活動者交流会、会員の打合せは勿論、文化活動や同好会の活動を増やしまし
ょう。手芸、囲碁、将棋など仲間を募って新しいクラブを創りましょう。

(4) 地域の高齢者にたいして貢献する活動を検討します。

ミニディハウスの運営を検討します。地域の高齢者、会員を対象にふれあう行
事（食事会、茶話会、お話し会など）は、いろいろな資格を有しておられる会員
や多彩な芸・趣味などお持ちのナルク会員にご協力いただくことで可能と考えて
います。“ふれあいルーム「天の川」”や地域施設の活用などで実現を目指してい
きます。

2. 時間預託活動

担当 近藤秀子

会員相互扶助活動の家事介助・庭の手入れ・ハウスヘルパー・送迎・パソコン
指導などの支援は高齢者の生活に欠かせない支援です。利用依頼が気軽に出来る
よう地区会などで積極的なPRをします。「高齢者サポートセンター」（旧：地域
包括支援センター）との連携強化に努めます。

福祉施設活動は、今年度から受託事業活動となりました。活動内容、方法など
は従来通りです。提供者に対する時間預託点数付与も変わりません。各施設には、
「天の川クラブ」の賛助会員となっていただきました。あくまでナルクの理念に沿
った活動内容を基準として取り組む予定です。

(1) 会員相互扶助活動

家事介助支援は、家事全般（買い物・掃除・食事づくり・話し相手・散歩の付
き添いなど）の提供をします。要望に応えられるよう技量のレベルアップを図り
ます。

庭・植木の手入れは、会員に代わり庭木の手入れをします。地区別担当者を決
めて地区内で対応出来るような体制づくりを行ないます。剪定チームを作って楽
しみながら技術の習得をします。

ハウスヘルパーは、どのような依頼内容にも出来るだけ対応できるように提供
者の掘り起こしをします。

送迎は、外出・移動の困難な会員の行動範囲を広げ、生活の質の向上を図る支
援です。通院等の送迎は勿論ですが、心の栄養につながるような文化施設などへの、
送迎を増やしたいと考えます。

パソコン指導は、習得したい会員に助言・指導サービスを行ないます。利用者
のニーズに合わせて、初期設定、性能アップへの指導など、電話やメールあるいは
リモートコントロールによる指導も検討していきます。

生活研究アドバイザーは経済状況悪化により、本年度も見込めない状況です。

その他技能提供ボランティアは、枚方市からの受託事業「生きがい創造学園」の
中で提供活動を行います。

(2) 福祉施設支援

2011年度の活動計画は、3,042点です。（「サンセール香里園」794点、「グループ

ホーム花梨」48 点、「エイジフリー・ライフ星が丘」2,200 点）各施設とも活動内容は変更なく実施の予定ですが、新しい会員が活動機会を得るように努めます。

(3) 在宅生活援助受託事業

今年度も市民への周知徹底がされるものと考えられ、少なくとも前年比約 10%の伸びが予想されます。増加予測に対応するために枚方市関係部門と一層の意思疎通を図り、確実なコーディネートと提供者確保に努めます。

家事支援に準ずる提供内容ですが、スポットなどにおいては男手の必要な活動があり、男性会員の活動を希望します。

3. 奉仕活動

担当 三津輝雄

奉仕活動は、時間預託活動と共にナルク活動の両輪で、社会に貢献できる活動です。昨年度は1万点を超える実績ですが、65%はナルクを支える内部活動です。

子育て、福祉、環境の分野で、私たちが参加できる活動を更に推進し、外部活動の比率を増やしていくよう皆さんの協力をお願いします。

(1) 福祉施設の活動

計画 1,460 点は前年度と同程度の予定です。福祉施設に対するボランティア活動は、高齢者福祉に貢献できる有意義な活動です。各地区内で始めようではありませんか。

(2) 子育て支援活動

1,420 点と大きく計画されています。その理由は、1月から活動を始めた「親子広場支援ボランティア」が本格的に活動始めます。この活動は、各地区内の生涯学習センター、図書館などで行われている「子育てサロン」「ふれあいルーム」をサポートする活動ですので地区内の会員が誘い合わせ活動できるようにしたいと考えています。「こどもいきいき広場」は、実績のある学校を主に見込んでいます。

(3) 環境美化活動

「クリーン・アダプト」は、2 か所とも環境が良くなり(美しくなった)活動範囲を拡張します。

「アドプトリバーNALC 天野川」の活動は、活動者を増やすことを積極的に行います。

(4) その他ナルク外部活動

諸団体が開催する恒例の行事には積極的に参加していきます

(5) ナルク内部活動

内部活動の適用見直しが予定されています。「天の川クラブ」の運営を支える重要な活動です。

4. 事業活動

担当 西田スマコ

(1) 生きがい創造学園受託事業

講座の内容を市民の要望に添わせるため次のように講座を改善します。

- ・通常講座 17 講座を開講
- ・つまみ絵講座を廃講し、編物手芸教室を新たに開講。

- ・短期講座（水泳教室－１５回） ※水泳教室Ⅰ・Ⅱを統合。
- ・短期講座（太極拳入門－１０回）
- ・短期講座（いきいき体操－１０回）※シニア体操を名称変更。
として要望に応えます。

（２）生涯学習情報プラザ受託事業

次の諸項目を推進します。

- ・大人向けパソコン教室を充実します。
 - ①□ ミニ体験講座の継続と Windows7 への対応を検討します。
 - ②実践パソコン教室の新規企画検討を行います。
デジカメ写真取り込み体験などの定期開催。
- ・小学生向けパソコン教室を充実します。
- ・行政と連絡を密にして、パソコンの適切な利用環境を整備して行きます。
- ・施設利用の向上に心がけ親切な対応を推進します。

５．文化・スポーツ活動

担当 梅田壽雄

文化活動 8、スポーツ活動 4 の計 12 クラブの活動を進めていきます。今年度もクラブ活動の参加促進を積極的に進めていきます。

自分の趣味や特技に没頭して磨き究めることは日頃のストレスを解消し心に潤いと癒しを与えてくれます。同時に共通の趣味や特技を持つ仲間を作る格好の場といえるでしょう。

クラブ活動を NALC 活動の第一歩として、会員同志の親睦を図りながら新しい仲間作りと自分自身の生きがいとやりがいを見出していきたい。

本年度から事務所と同じ場所に、“ふれあいルーム「天の川」” が開設され広く会員に開放されます。これを機に会員間の更なる交流を深めていただき、既設クラブへの参加率の向上と新しく同好会・新クラブの創設を目指し、活発な活動を展開し併せて会員獲得に役立てていきます。

６．会員活動促進

担当 三津輝雄

会員皆さんの「活動を促進するために」「活動仲間との親睦を図るために」「活動を省みて改善するために」「顔の見える組織作りのために」実施している活動が会員活動促進施策です。色々な事情のため活動されていない会員の皆さんが活動に参加できる機会を見つけていただきたいと思いますので、積極的な参加を期待します。

（１）地区会

今年度は、特に地区会の充実を図っていきます。発足した当時からみれば地区会の開催も活発にされていますが、参加者が少ない地区もあります。「声かけボランティア」が地区内の活動として始まっていますが、今年度から地区会の運営を具体化していきます。地区担当運営委員・地区世話人・手配り者（連絡員）の連携を強め、地区会員の連絡網を確立します。地区会の開催が活発になり、お互いの顔が見えるようにして地区内の利用依頼は地区内で提供できるようにしましょう。

（２）会員研修会

本部主催の研修（ＣＯレベルアップ研修、リーダー養成講座）をはじめコーディネーター養成講座、ミニ講習会（車椅子操作、「AED」講習、バリアフリー体験学習）などを計画しています。講習会などを通じて会員の交流する機会を増やし提供者の増員を図ります。

（３）イベント

今年度のイベントは、「定時総会」（６月）・「秋のつどい」（１０月２１日）「親睦旅行」（１１月～２月の間）を計画し「さくら祭」（４月）「NPO フェスター」（日程未定）に参加を予定しています。“ふれあいルーム「天の川」”を利用してのイベントも検討していきます。

（４）活動区分別交流会

同じ活動していても活動日が違うなどで活動者間の交流ができない、意志疎通が図りにくいなどを解決するための活動です。昨年度は開催が少なかったですが、今年度は、各担当が積極的な計画を立てています。

交流会に参加し、仲間との親睦と情報交換を図りましょう。

（５）誕生月会

昨年までは隔月開催でしたが、８月からは“ふれあいルーム「天の川」”を利用して毎月の開催を予定しています。昼食をしながら楽しめるイベントを組み入れていきます。

（６）天の川サロン

毎月第４水曜日の午後１時～３時に開催しています。“ふれあいルーム「天の川」”を利用して、手芸を楽しんだり、お話を楽しんだりして気軽な交流の場として活動していきます。

事務局活動

担当 和田亮吉

事務局業務は、十数名の事務局スタッフが各業務に携わっています。特にパソコン入力は、新システムを導入することにより会員管理をより敏速に的確に遂行出来るよう努めていきます。また、活動報告書作成・ファックス・会報の印刷などができる複合機の導入を行い、事務処理の合理化を進めていきます。

広報・渉外活動は、新たに担当者を決め、各福祉施設・企業・行政等にナルク活動を積極的にＰＲしていきます。

新設の“ふれあいルーム「天の川」”の部屋を新しい活動の場や、会員交流の場として、多くの会員が気軽に楽しく利用できるようルームの改修を行います。